

# “多様化する家づくりの提案に対応した”平屋の間取り集

入居人数や敷地条件に合わせた間取りを収録。

ターゲット層が来場した際、すぐに参考間取りを使って接客が可能です。

想定した顧客像に訴求できる「暮らし方の提案」が盛り込まれているため、他社に先駆けお客様を惹きつけることを後押しします。

Point

01

## コンパクトに広がるリビングの 新たなカタチ “L+K”

少人数世帯が豊かに暮らすための空間デザインが“L+K”です。住まいのなかで過ごす時間が長い「リビング」を重要視し、リビングに溶け込むようにキッチンを設置しています。これにより従来よりもコンパクトながら、広さを感じるゆとりあるリビングスペースを実現しました。キッチン周りに必要な調理家電を置くスペースなどもきちんと計画することで、実用的で居心地のいいひとり住まい・2人住まいの暮らしにぴったりの新たな提案です。

Point

02

## シームレスにつながる “空間デザイン”

ひとり住まい・2人住まいの家では、面積以上の広さを感じることをコンセプトとし随所にデザインの工夫を凝らしています。室内窓を設けることで視線を通し、腰壁によってスペースを仕切りながらも天井は繋がりを持つことで“抜け感”のある空間を提案しています。シームレスな空間デザインにより、大空間のような広がりを感じられる少人数世帯にちょうどいい建物サイズを叶えました。

Point

03

## 少人数世帯の暮らしにフィットする “寝室”

ひとり住まい・2人住まいの家は、個人のプライベートスペースとなる“寝室(居室)”において、様々なスタイルを提案しています。リビングの一部として寝室を使いたい人、きちんとプライバシーを確保した部屋が欲しい人など寝室のパターンはたくさんあります。もちろん全てのパターンを提案できてはいませんが、ひとり・2人暮らしの生活スタイルをできる限り想像することで、多くの暮らしにフィットする提案をしています。

Point

04

## 住まい方を広げる “ハブ収納”

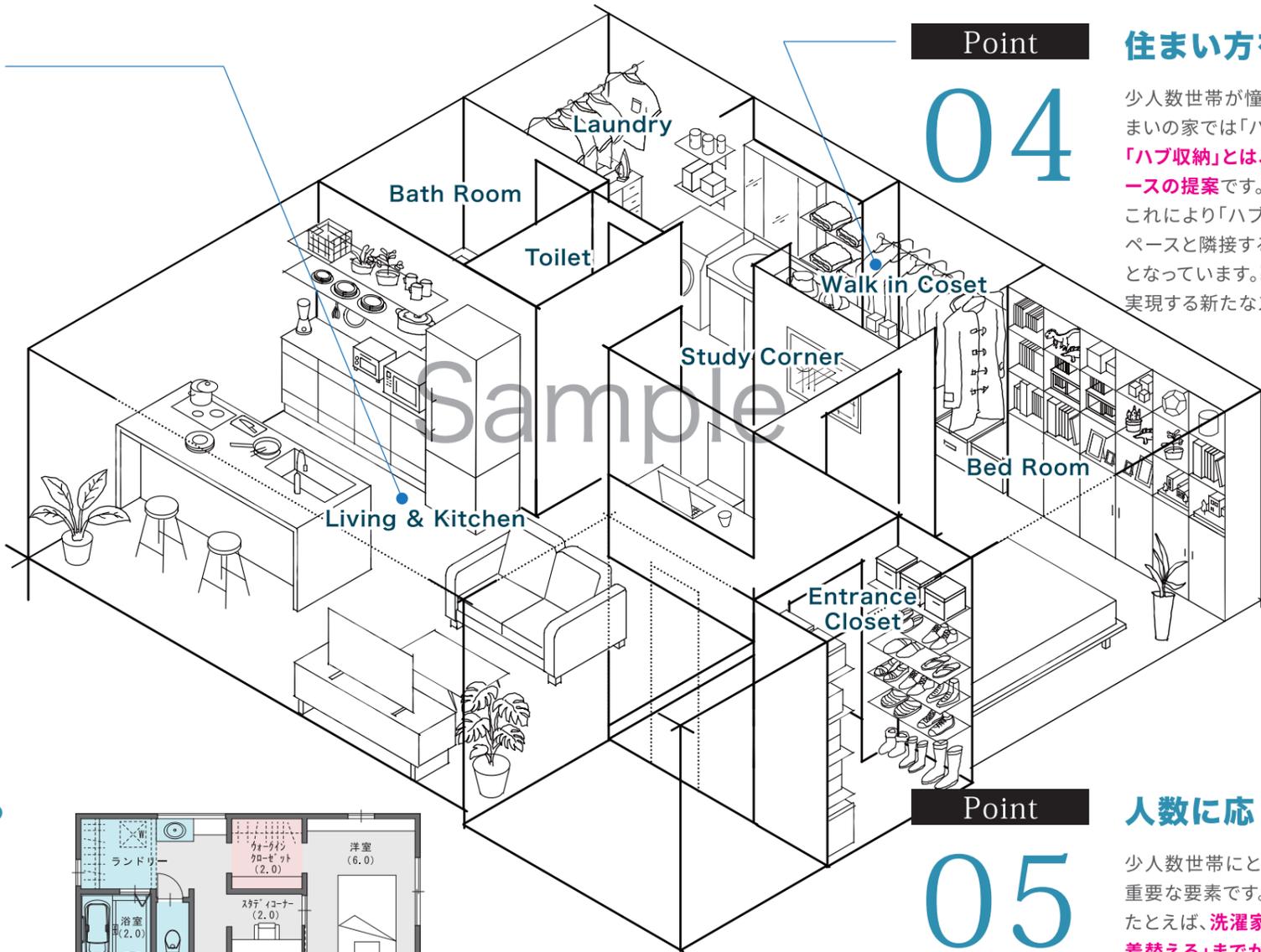
少人数世帯が憧れる住まいを叶えるために、ひとり住まい・2人住まいの家では「ハブ収納」という考え方を取り入れています。「ハブ収納」とは、住まいの動線が交差する場所に設けた収納スペースの提案です。これにより「ハブ収納」が寝室・LDK・水廻り・玄関など様々なスペースと隣接することとなり、どのスペースからも使いやすい収納となっています。暮らし方が多様化するなかで、様々な住まい方を実現する新たなスペースです。

Point

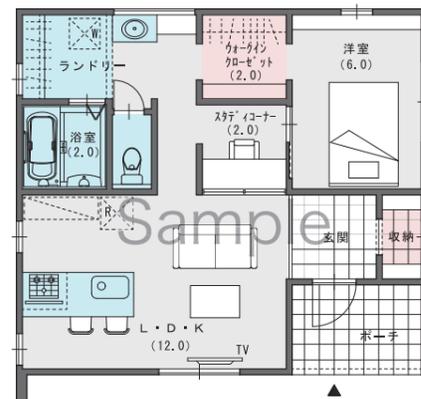
05

## 人数に応じた “水廻り提案”

少人数世帯にとっても、水廻りの使い勝手は暮らしの質に関わる重要な要素です。たとえば、洗濯家事においては「脱いで・洗って・干して・収納して・着替える」までが一か所で行える水廻りパターンなど、今のライフスタイルにあわせた間取りづくりを行っています。また、ひとり暮らし向けとしてセミオープンな水廻り空間により使い勝手の良いスペースを提案したり、ハブ収納と組み合わせた新たな水廻り提案など、住まう人数に応じたバリエーションを収録しています。



Facade Design



Plan

Lifestyle Image